（様式第９号）

情報公開用文書

「急性期病院における転院調整長期化症例の臨床的・社会的特徴
－転院調整に 10 日以上を要した症例の後方視的記述研究－」のご協力のお願い

１，　研究（調査）の目的と概略

急性期病院は、治療が一段落した適切なタイミングで、地域の適切な医療機関や介護施設等へとおつなぎすることが非常に重要です。しかしながら、患者様の病状や受け入れ側の環境、ご家族様のご事情など、様々な事柄が重なることで転院調整に長期間要する事例が生じることがございます。本研究は、当院において転院調整に 10 日以上要した患者様の背景を体系的に分析・整理させていただくことを目的としています。本研究の成果は、より手厚い転院支援の質向上に役立てて参ります。

２，　研究（調査）の方法

転院調整に 10 日以上要した患者様の、年齢、性別、主診断名、診療科、入院元、入院形態、入院時の認知症高齢者の日常生活自立度、転院時の日常生活自立度と医療依存度、転院先と病床機能に関する情報のみを使用いたします。

３，　研究（調査）の参加施設　　徳島県立中央病院　患者支援センター

４，　研究対象期間　　2026 年 4 月 1 日から 2026 年 9 月 30 日まで

５，　調査の対象となる患者様

本研究の対象となるのは、当院患者支援センターにて転院調整を行い上記期間中に転院された患者様で、転院調整の日数が 10 日以上要した患者様です。

６，　本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、新たな診療や検査を強いるものではありません。調査結果は、個人が特定できないように匿名化し個人情報を保護します。研究成果は学会等で発表させていただく可能性がございますが、個人情報が外部に公表されることは一切ございません。また、収集したデータは厳重に保管し、研究終了後は速やかに破棄・消去いたします。ご自身の情報が本研究に使用されることを希望されない場合は、いつでも研究対象から除外させていただきます。お手数ではございますが、データのご使用をお断りになる場合は、下記のお問い合わせ窓口までご遠慮なくお申し出ください。

お問い合わせ先
徳島県立中央病院　　患者支援センター　088－631－7151
研究責任者　　看護師長　濱崎　昌子